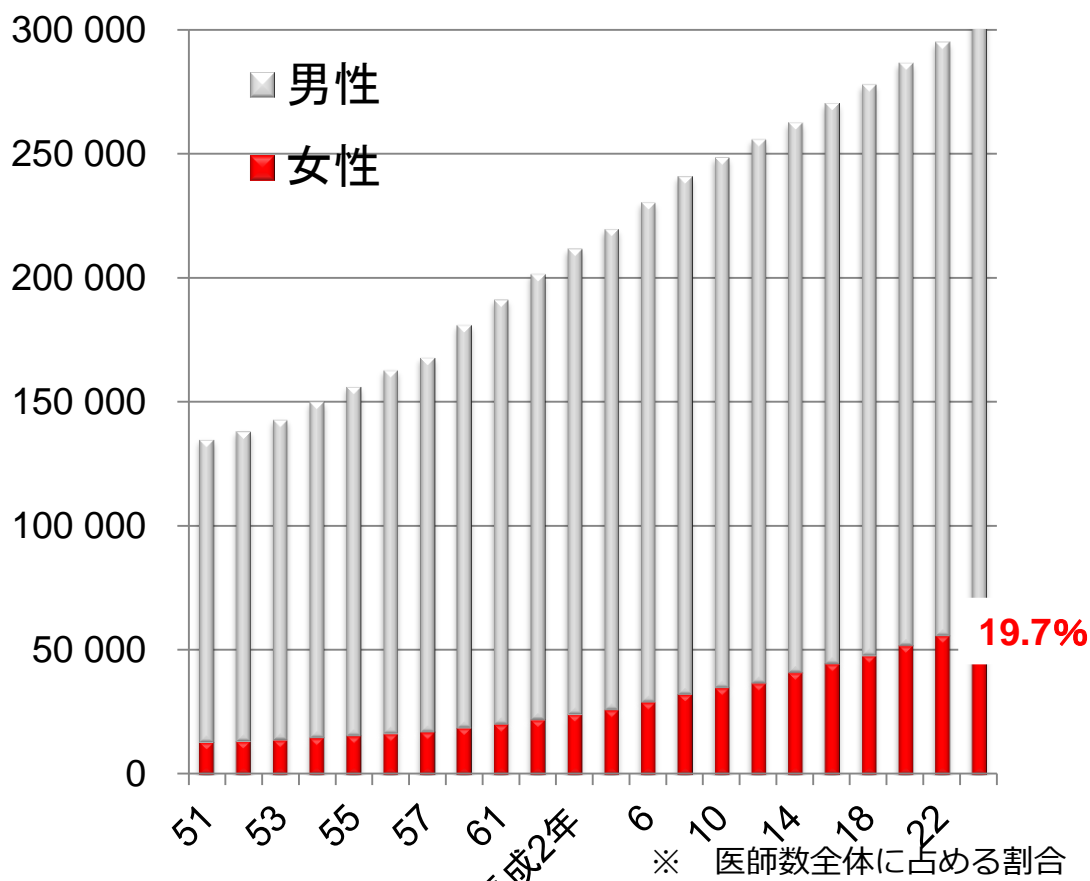


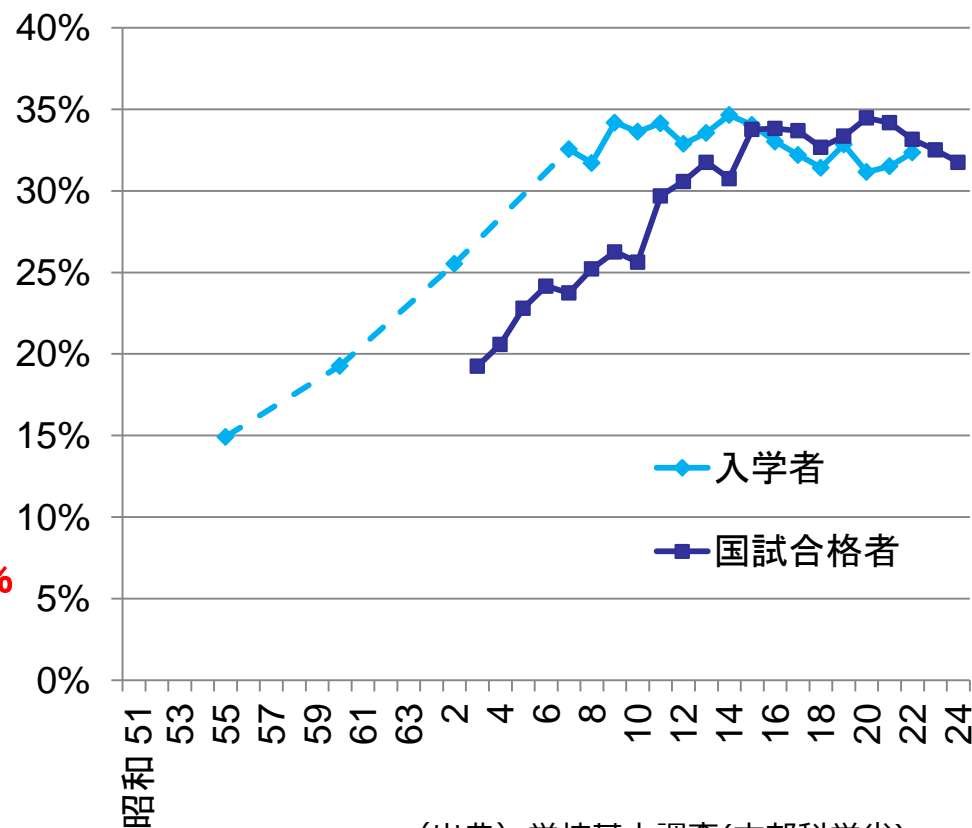
- 全医師数に占める女性医師の割合は増加傾向にあり、平成24年時点で**19.7%**を占める。
- 近年、若年層における女性医師は増加しており、医学部入学者に占める女性の割合は約3分の1となっている。

女性医師数の割合



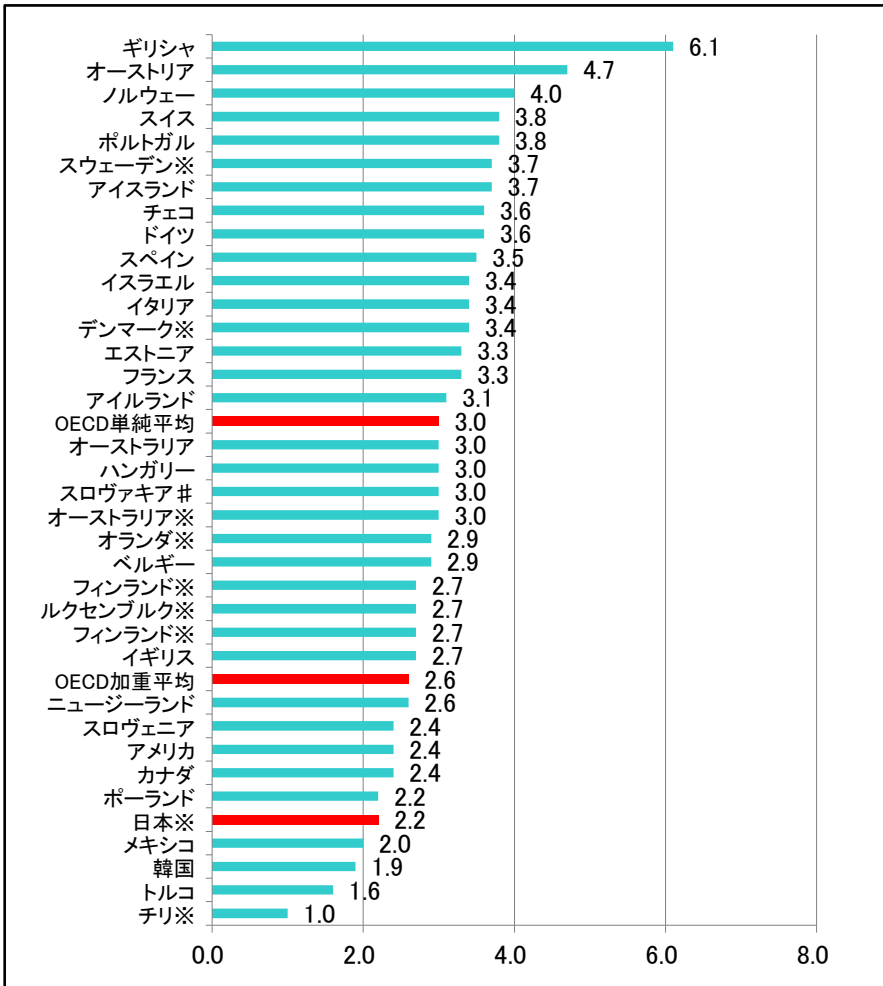
(出典) 医師・歯科医師・薬剤師調査

医学部入学者・国家試験合格者数に占める女性の割合

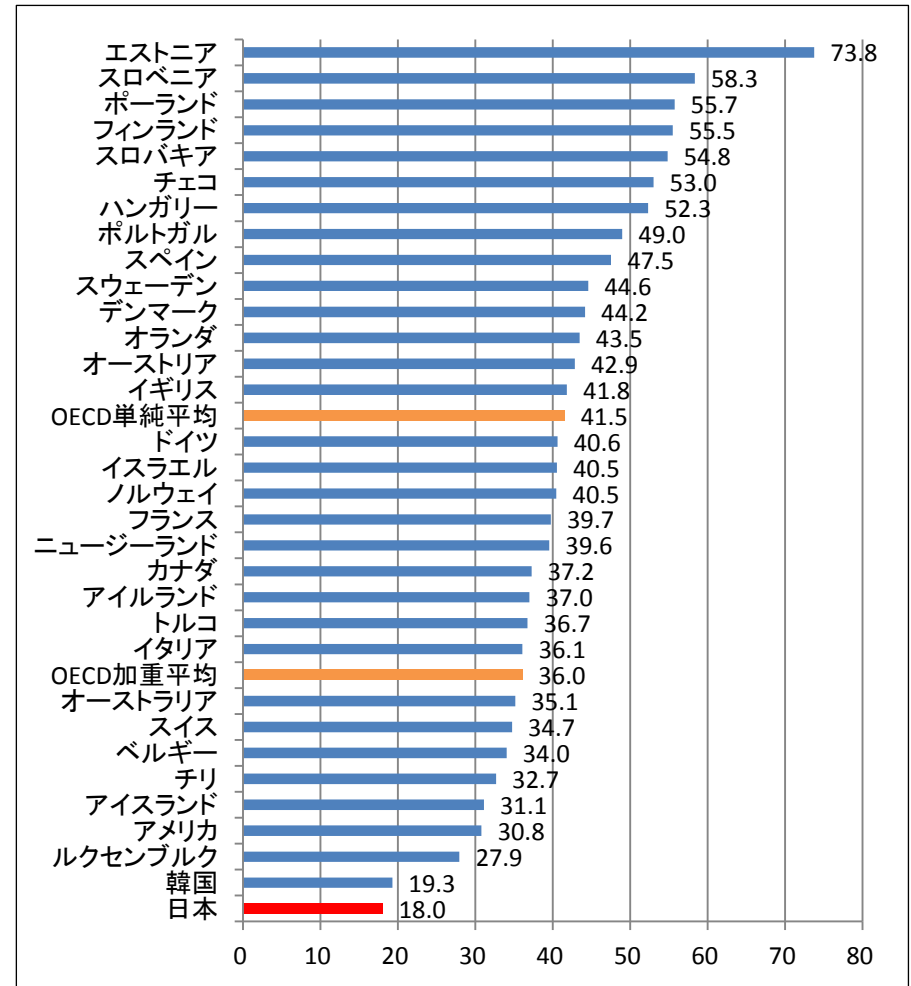


(出典) 学校基本調査(文部科学省)
医政局医事課試験免許室調べ

各国の人口1000人当たり臨床医数



各国の女性医師の割合(%)



※は2008年 #は2007年

注1 単純平均とは、各国の人口当たり医師数の合計を国数で割った数のこと。

注2 加重平均とは、全医師数を全人口で割った数のこと。

注3 ギリシャ・フランス・アイルランド・オランダ・カナダ・トルコは研究機関等に勤務し臨床にあたらぬ医師を、ポルトガルは資格を有して現役で働いていない医師を含んでいる。

OECD Health Data2011

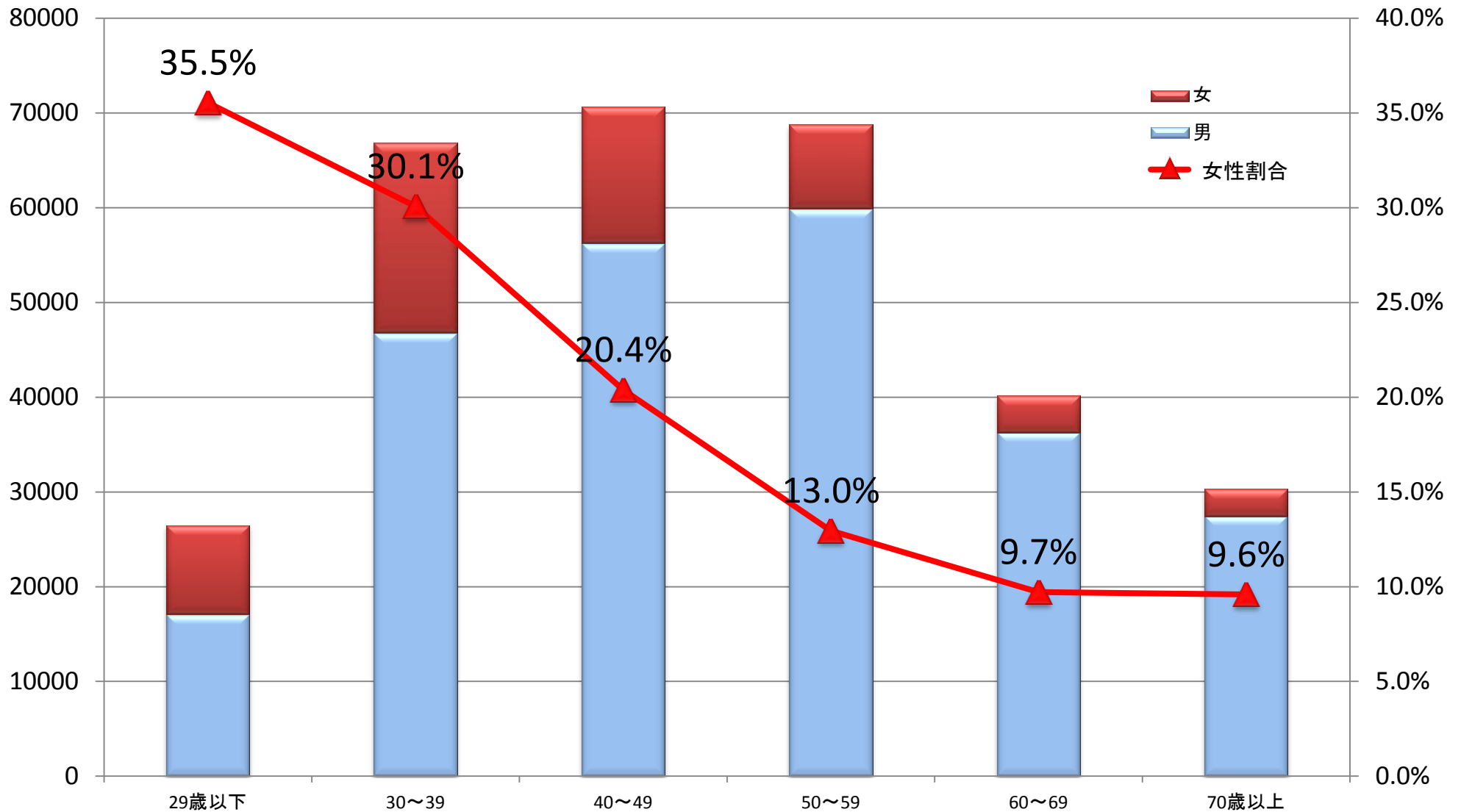
メキシコおよびギリシアについては、女性医師の数が得られなかったため除いている。

注1 単純平均とは、各国の女性医師の割合を国間で平均をとったもの。

注2 加重平均とは、OECD加盟国全体における女性医師数を総医師数で割ったもの。

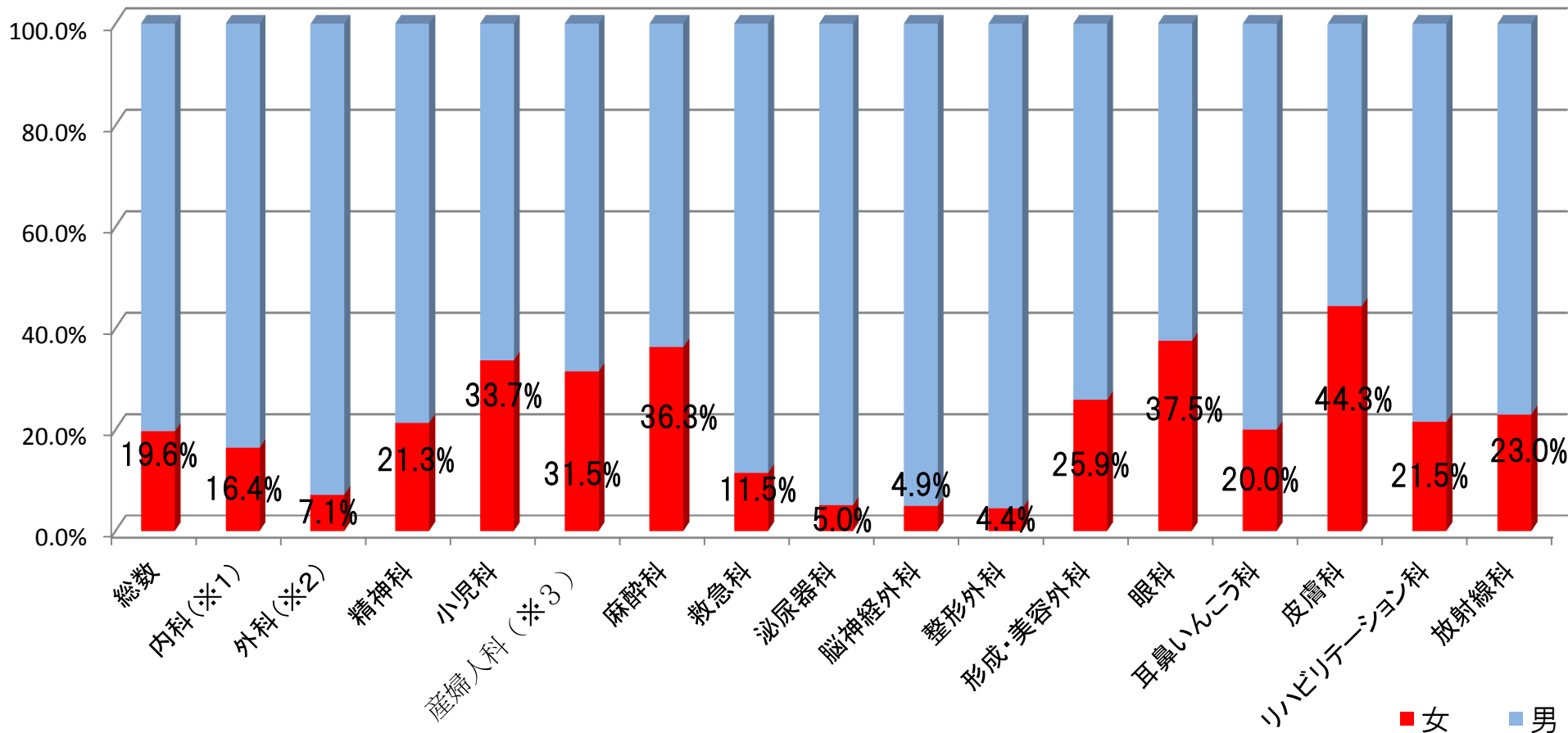
注3 チリ、エストニア、アイルランド、イスラエル、イタリア、ニュージーランド、ポルトガルは資格を有している医師数、カナダ、フィンランド、フランス、オランダ、スロバキア、トルコは活動している医師数を登録している。

平成24年 年代別女性医師の割合（総数）



平成24年 診療科別 医師男女比

- 医療施設従事医師数の女性割合は19.6%であり、22年の18.9%と比べて増加している。
- 皮膚科や小児科、産婦人科といった診療科では女性医師の占める割合は高いが、外科や脳神経外科などの診療科では、非常に低い。

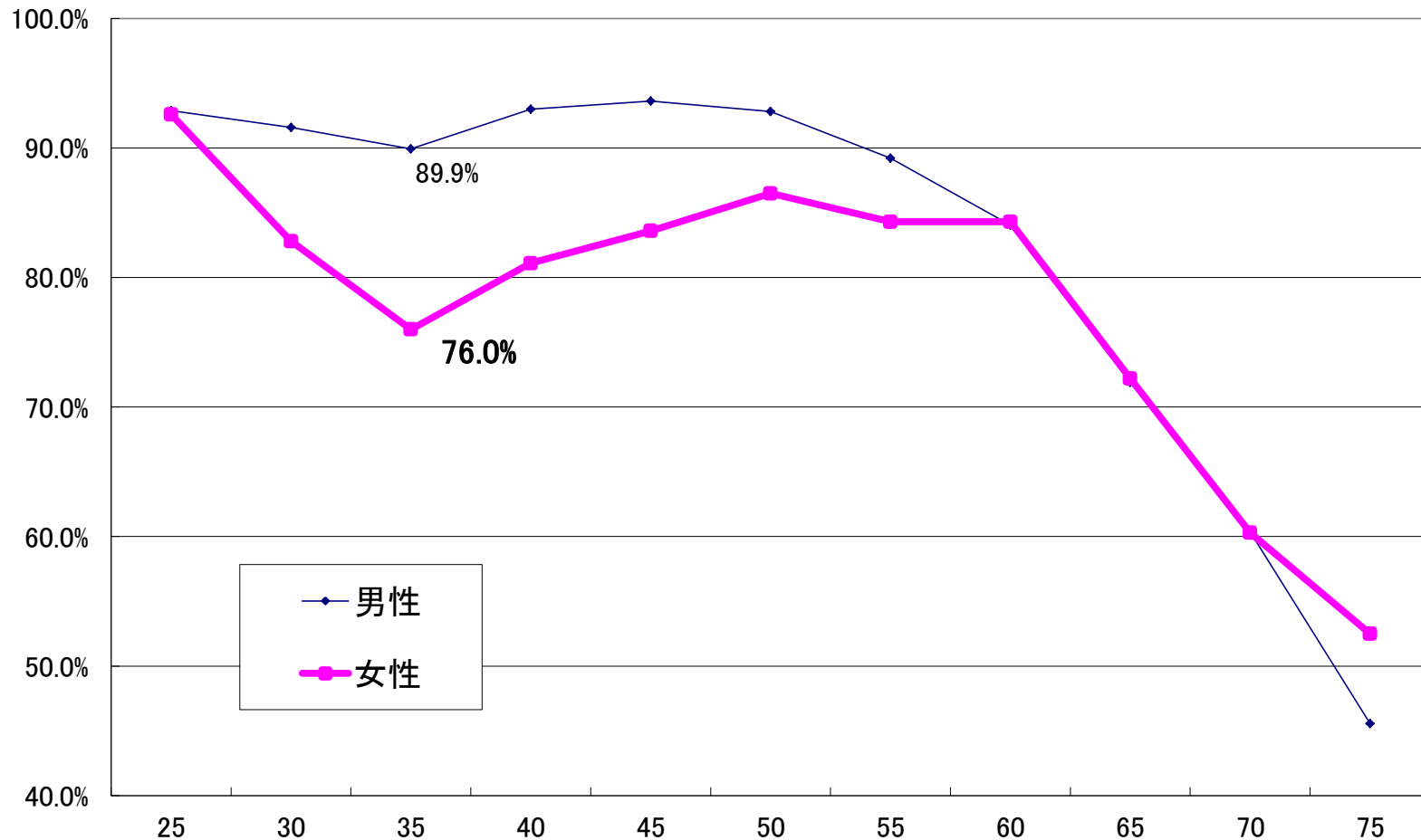


※1…内科、腎内、血内、糖尿病、循内、消内、神内、アレルギー、リウマチ、感染症、心療内科
 ※2…外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、肛門外科、小児外科
 ※3…産婦人科、産科、婦人科

女性医師の就業率のM字カーブ

女性医師が医師として就業している率は、医学部卒業後、年が経つにつれて、減少傾向をたどり、卒業後11年（概ね36歳）で76.0%で最低となった後、再び就業率が回復していく。

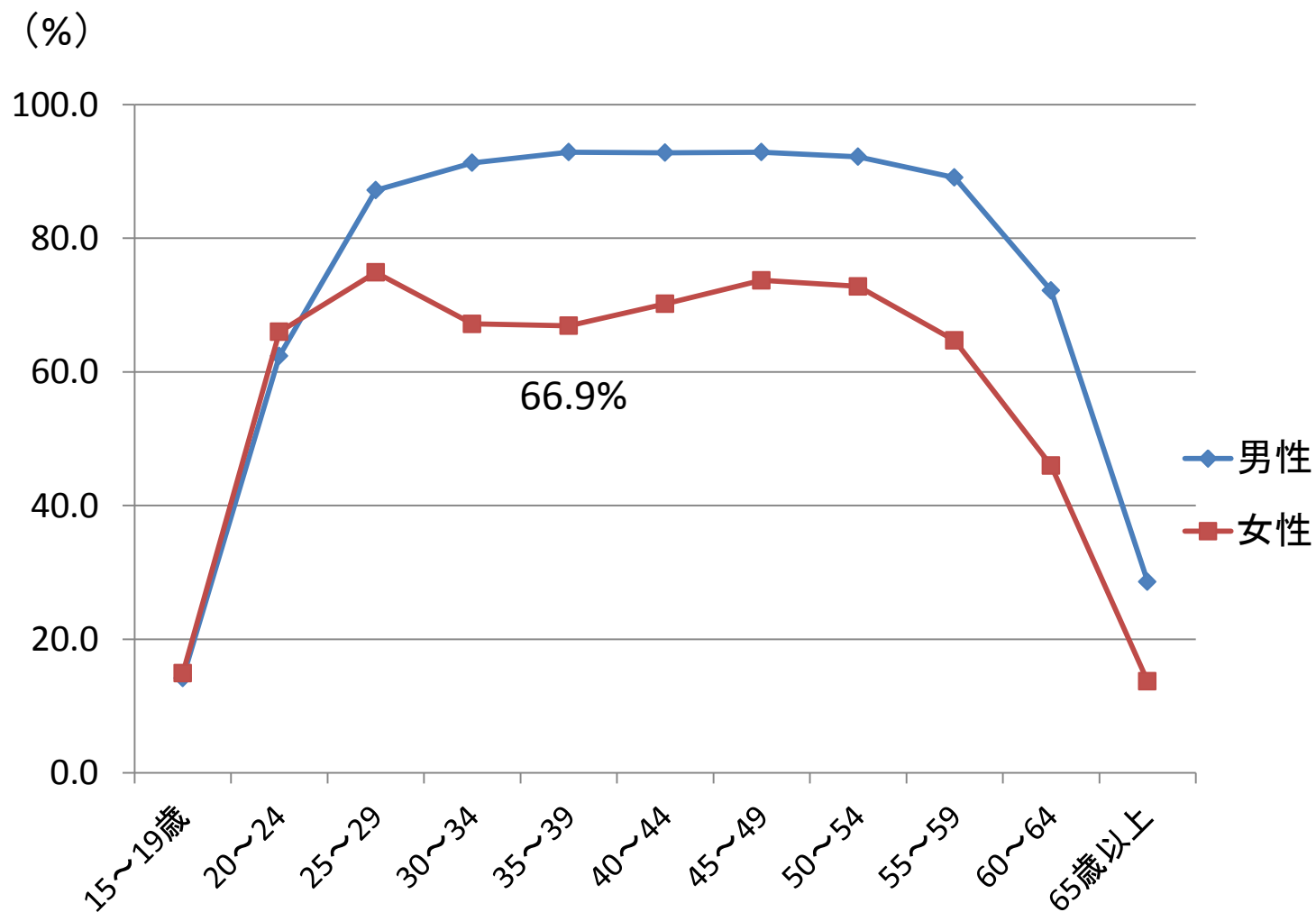
男性医師と女性医師の就業率



(注) 医師が25歳で卒業すると仮定した場合の就業率である。

(出典) 平成18年度厚生労働科学研究「日本の医師需給の実証的調査研究」(主任研究者 長谷川敏彦)

(参考)一般の年齢階級別就業率

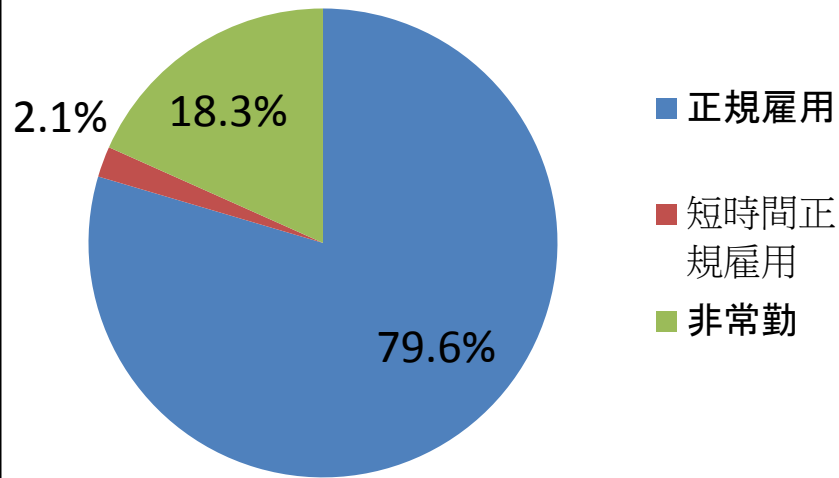


(出典) 総務省「平成24年労働力調査」

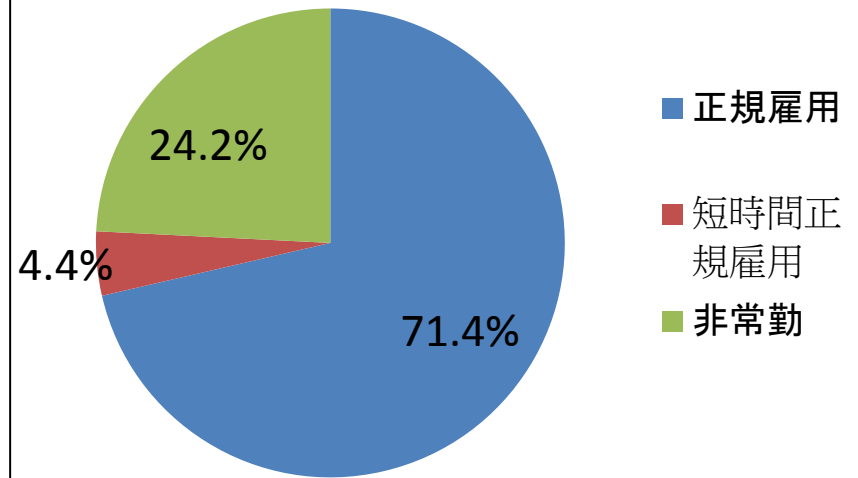
病院における女性医師の雇用状況

- 現員医師数(全体)のうち、女性医師の占める割合は17.4%となっている。
- 現員医師数(全体)では、短時間正規雇用の占める割合は2.1%、非常勤の占める割合は18.3%(約1/5)となっている。女性医師では、短時間正規雇用の占める割合は4.4%、非常勤の占める割合は24.2%(約1/4)となっている。

現員医師数



現員医師数(女性医師)

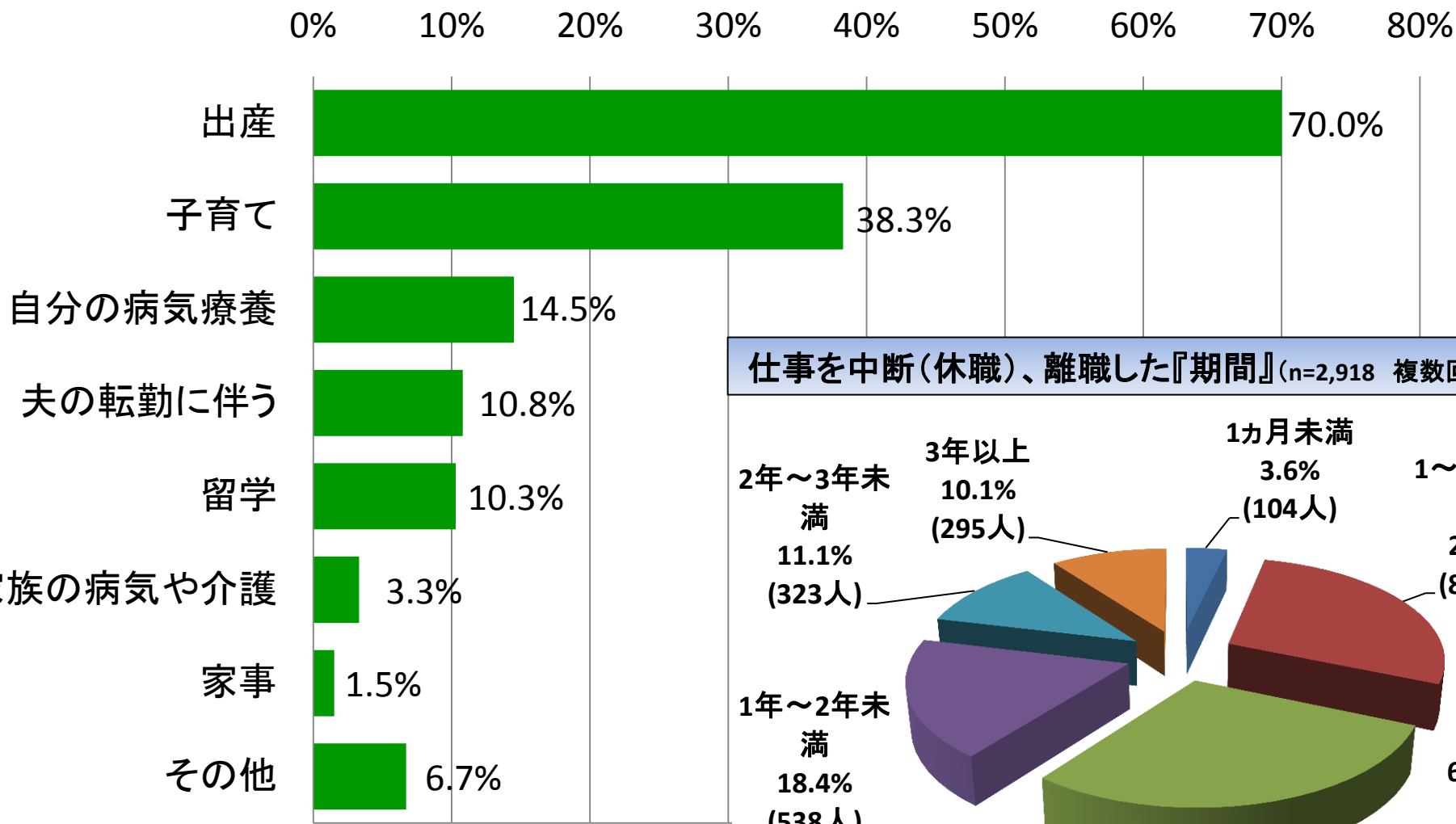


	現員医師数						
	A=B+C+D	正規雇用B	B/A	短時間正規雇用C	C/A	非常勤D	D/A
現員医師数	167,063	132,937	79.6%	3,532	2.1%	30,594	18.3%
うち女性医師	29,129	20,792	71.4%	1,286	4.4%	7,051	24.2%
女性医師の割合	17.4%	15.6%	—	36.4%	—	23.0%	—

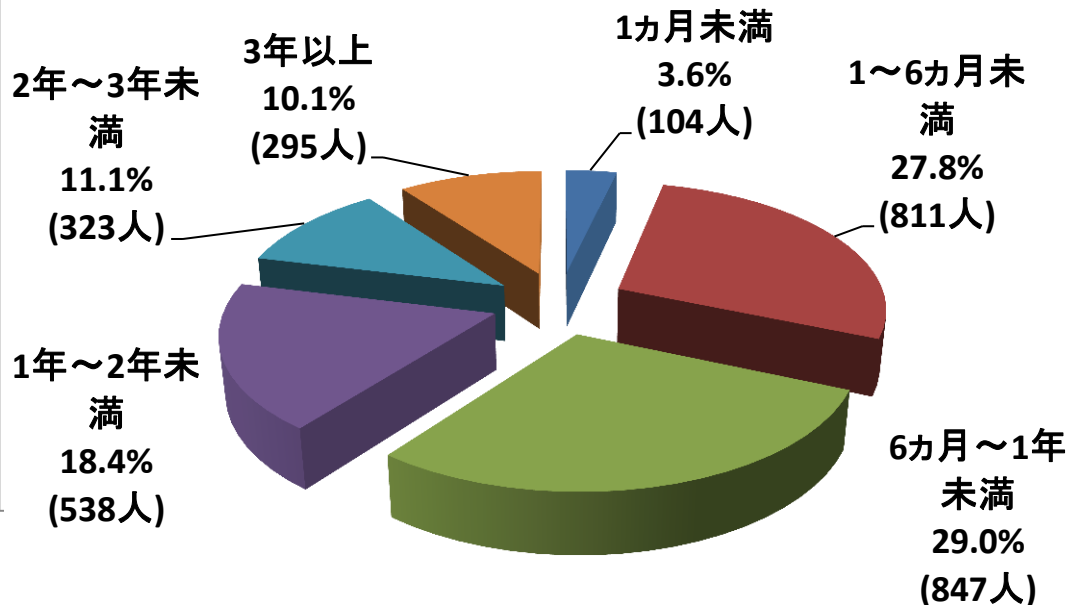
注) 医師数は、病院、分娩取扱い診療所に従事している医師数であり、臨床研修医を除く。

(出典) 病院における必要医師数実態調査(平成22年9月、厚生労働省)

仕事を中断(休職)、離職した『理由』(n=2,931複数回答)



仕事を中断(休職)、離職した『期間』(n=2,918 複数回答)



(出典) 女性医師の勤務環境の現状に関する調査報告書(平成21年3月日本医師会)
 [調査票配布数15,010 有効回答数7,467(有効回答率 49.7%)]
 [調査対象: 病院に勤務する女性医師]

子育てをしながら勤務を続ける上で必要な条件

○臨床研修医に子育てをしながら勤務を続ける上で必要な条件を問うたところ、「職場の理解・雰囲気」「短時間勤務制度」「当直や時間外勤務の免除」「勤務先に託児施設がある」「配偶者や家族の支援」の順に多かった。

子育てをしながら勤務を続ける上で必要と考えられるもの（複数回答のうち「最も必要」と回答した項目）

